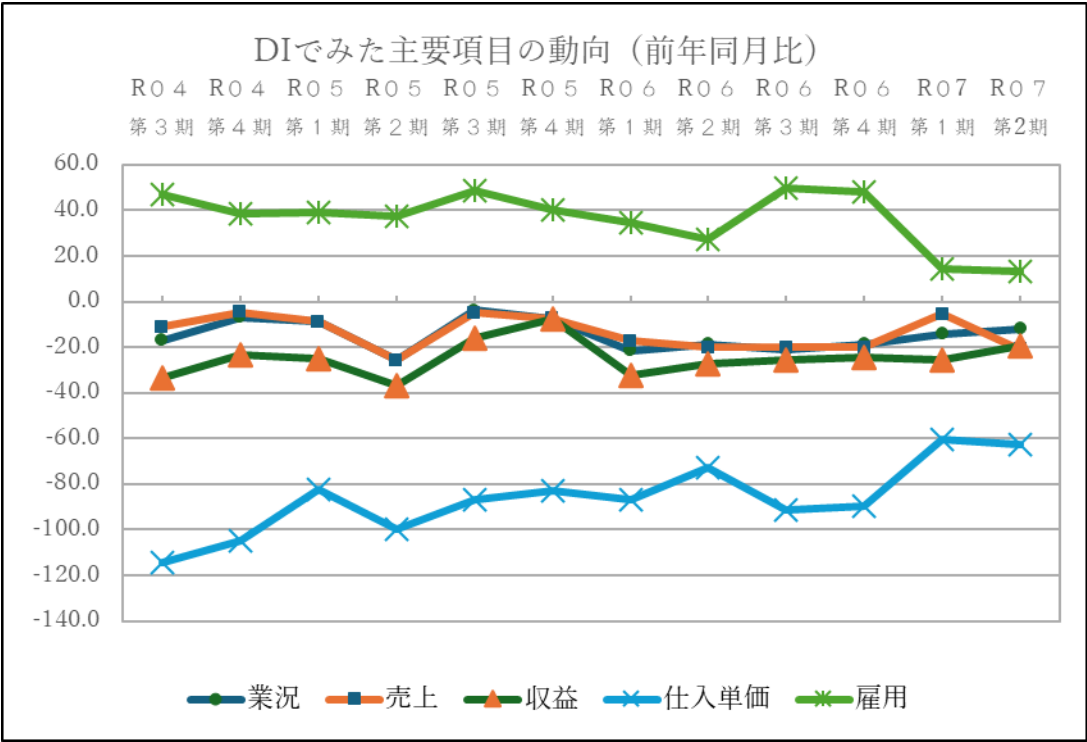


景気動向調査 令和7年度・第2期（令和7年7月～令和7年9月）

調査概要

調査対象:赤穂商工会議所管内 80社
回収:67社 回収率:83.7%
調査対象期間:令和7年7月～令和7年9月(令和7年度・第2期)
DI値:「良い＋やや良い」と判断する事業所の割合から、「やや悪い＋悪い」と判断する事業所の割合を差引き、指数で表します。従って、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感を意味します。
補足：前回より中小機構の「中小企業景況調査」に参加した関係で調査対象・調査項目が大幅に変更となりました。令和6年第4期以前の記録は参考値として掲載しています。

調査結果のポイント



* 令和6年第4期以前は参考値

全産業合計DI

区分	R7第1期 (R7年4月～6月) * 前年同月比	R7第2期 (R7年7月～9月) * 前年同月比	R7 第2期 今期のみの業績
業況	△14.1	△11.9	△3.0
売上	△5.6	△20.9	
収益	△25.4	△19.4	+25.4
仕入単価	△60.6	△62.7	
雇用	14.1	13.4	

※雇用 DI については、数値が大きいほど人手不足感を表す

○今期の景況(前年同月比)をみると、全産業合計の業況DIは前回調査(R7 年 1 期)に比べ 2.2 ポイント上昇の△11.9 となった。売上 DI は 15.3 ポイント下降の△20.9、収益 DI は 6.0 ポイント上昇の△19.4 となり、また仕入単価は 2.1 ポイント下降で△62.7、雇用 DI は 0.7 ポイント下降の 13.4 となった。

○また、今期のみの業績(比較なし)については、全産業合計の業況 DI は△3.0、収益は+25.4 となった。

産業別売上 D I

区分	前年同月比				
	R6 第 2 期	R6 第 3 期	R6 第 4 期	R7 第 1 期	R7 第 2 期
全体	△20.0	△20.0	△20.0	△5.6	△20.9
建設業	△21.4	△50.0	△25.0	△9.1	△9.1
製造業	△37.5	0.0	△18.2	5.9	△13.3
卸売業	0.0	0.0	0.0	11.1	△22.2
小売業	△20.8	△40.7	△34.6	△29.4	△52.9
サービス業	42.9	20.0	33.3	0.0	0.0

*R6 第 4 期以前は参考値

○産業別の売上DIは前回調査(令和 7 年 1 期)と比較すると、建設業が△9.1、サービス業が 0.0 で不変、製造業が△13.3(△19.2 ポイント)、卸売業が△22.2(△33.3 ポイント)で悪化となった。

経営上の問題点 (上位 3 項目)

区分	R6 第 2 期	R6 第 3 期	R6 第 4 期	R7 第 1 期	R7 第 2 期	前回調査比
従業員の確保	18.8	23.3	22.4	24.4	27.2	+2.8
原材料高	20.0	18.9	17.6	16.5	16.6	+0.1
設備や建物の老朽化				6.4	9.8	+3.4

*R6 第 4 期以前は参考値

○事業所からのコメント

製造業：労働者の平均年齢が高いため、ケガや病気についても十分気をつけたい。

卸売業：業界として（商品の）価格が不安定。

小売業：消費者の購買目線に従来のメーカーの対応が遅れている。

<参考>

有効求人倍率

区分	R7.6月	R7.5月	R7.4月
一般(常用)	0.76	0.81	0.78
パート(常用)	0.65	0.64	0.73
一般+パート(全合計)	0.71	0.73	0.75

